

# Hライン マルチベントマスク

再使用禁止

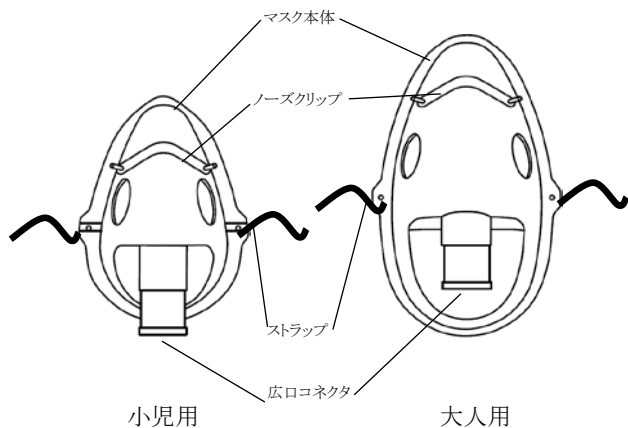
HSF0044

## 【禁忌・禁止】

使用方法  
・再使用禁止

## 【形状・構造及び原理等】

1. 形状  
(1) マスク



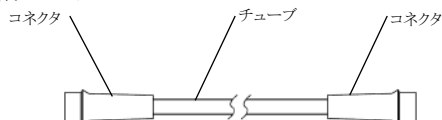
- (2) アダプタ



- (3) 酸素希釈器



- (4) 酸素チューブ



2. 材料

本品のマスク本体及び酸素チューブは軟質ポリ塩化ビニル製である。

3. 種類

サイズ
小児用
大人用

4. 原理

機器から供給された酸素は、ベンチュリ効果により調節された量の空気が混合されて目的の酸素濃度に希釈される。マスク本体の周縁部を患者の顔にあてることにより、機器から供給されて酸素希釈器で目的の酸素濃度に希釈したガスを患者の気道に供給するための通路として機能する。

<酸素希釈器の酸素濃度と推奨酸素流量の関係>

酸素濃度	推奨酸素流量
24%	3LPM
28%	4LPM
31%	6LPM
35%	6LPM
40%	8LPM
50%	12LPM

## 【使用目的又は効果】

本品は、患者の気道に空気・酸素ガスを供給するために鼻と口に設置するマスクである。空気・酸素ガスはエアロゾル粒子を含む場合がある。

## 【使用方法等】

1. 酸素希釈器をマスク本体の広口コネクタに接続する。
2. 酸素チューブを介して酸素供給ラインを酸素希釈器に接続する。
3. 適切な酸素希釈値に矢印を合わせる。
4. 適切な酸素流量となるようにフローメータを設定する。
5. しっかり接続されていることを確認する。
6. ストラップを耳の下から首の周りに掛ける。
7. ストラップの両端をそと引張り、マスクを患者の顔に固定する。
8. マスクが顔にフィットするようノーズクリップで調節する。

## 【使用上の注意】

\* \* <重要な基本的注意>

- ・本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。
- ・本品のノーズクリップはアルミニウムを使用している。MRI検査における使用には注意すること。[アルミニウムが発熱するおそれがある。]

\* <相互作用(他の医療機器等との併用に関すること)>

- ・併用注意(併用に注意すること)  
酸素希釈器を低濃度(例えば、24%、28%、31%)の設定で気泡型加湿器と併用する場合、十分な酸素が供給されないことがある。[バックプレッシャーがかかり、加湿器の安全弁が作動することで患者への酸素流量が変化する]。このような場合は、加湿器を外して使用すること。

## 【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保存すること。

<有効期間>

包装の使用期限欄を参照[自己認証による]

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者  
株式会社インターメドジャパン  
大阪市中央区道修町1-6-7 TEL:06-6222-1951

■外国製造所  
シーナ社 (Hsiner Co., Ltd.) 台湾